

ご挨拶

読者の皆様方には、日頃より本誌をご愛読いただき、まことに有り難うございます。



弊社は創業以来、80年にわたり工業用シール製品のパイオニアとして斯界をリードし、プラント・機器などの基幹産業、ふっ素樹脂に代表される機能樹脂事業、また半導体・各種ディスプレイ製造ラインのシールや真空部品などの先端産業に業容を拡大して参りました。このため常に顧客のニーズを先取りし、お客様のご満足を得られる製品をお届けすべく、絶えざる研究開発を行って来ました。

さて、弊社では中期3ヵ年計画、ニューバルカー・ステージ4 (NV・S4) を策定し、本年4月よりこれを実行中です。NV・S4の大きな柱の一つが「技術力の強化による事業の創出と高度化」です。この目標に向かってシール機能や材料ハンドリングまたコンポーネント化に関するコア技術を一層強化し、国際的に高い技術力と競争力を有するトータルシールエンジニアリング会社として進化して参ります。顧客にソリューション提案が出来る技術営業を強化するとともに、研究開発も第一線で顧客の開発担当者と同じ目線での技術討議を通じた協業の中から、新製品を開発して行きたいと考えております。このような垂直連携案件を充実すると同時にアライアンス拡大を目指したグローバルな水平連携も強化していく所存です。

また弊社は新規材料をいち早く使いこなして、複合化や高次加工をほどこして、新しい機能を提供することをコア技術として持っております。環境・エネルギー、情報通信・エレクトロニクス、自動車・航空機、ヘルスケア、そして安全・安心がこれからの時代のキーワードです。コア技術を生かしてこれらの成長分野に果敢に挑戦し、世界に向けて独創的な製品を発信し、新しい事業を創出していきたいと念じております。

これら技術課題を解決していく鍵は人材であります。弊社は東京にMRTセンターを設置し、人材育成にあたっており、本年5月には中国にも人材開発センターを開設致しました。日本の研究所そして上海の研究所では若く将来性を持つ研究開発者が育って来ております。今後は創造力のある研究開発者、事業の分かる技術者の育成に更に注力して参ります。

加えて、最先端の情報に常にアクセスしていることが、技術経営には必須と考えております。顧客は勿論のこと、学術研究機関、ベンチャーなどにグローバルネットワークを拡大して参りたく、広く、皆様方のご意見、アドバイス、そして暖かいお叱りをお待ち申し上げますので。

最後になりましたが、皆様方の益々のご発展を祈念致すとともに、弊社製品を変わらずご愛顧下さいますよう、心よりお願い申し上げます。

専務執行役員 最高技術責任者(CTO) 五十嵐 信哉